

第3次射水市中小企業振興計画 第2回検討委員会以降の意見に対する対応及び修正点

資料 2

1 委員からの意見

令和6年1月30日

NO.	発言者	意見	対応案
1	小杉委員 若林委員 宮田委員	P25（1）将来像について ・第2案の「izm」は「ism」ではないのか。“z”とすること 何か意味を含ませているのか。 ・若者の視点を取り入れることが大事。「射水イズム」で良 いと思う。 ・「izm」はカタカナで良いと思う。	【修正反映】 ・「izm」をカタカナの「イズム」とします。 ・冒頭の導入タイトルに「共創」と「中小企業」のキーワ ードを検討し含めます。 (事務局 原案)
2	田仲委員	P25（1）将来像について ・「共創」というキーワードを用いてはどうか。まちと企業 との連携や競争力を高めていくことなど、幅広い意味を含ま せることができると思う。 ・第2案は中小企業の振興を読み込める内容が少し薄いので はないか。	～中小企業が時代に挑む力 共に未来を創る力～ 射水イズムで、まちの飛躍をリードする ↓ <u>(委員意見反映案)</u>
3	宮田委員	P25（1）将来像について ・第2案について、「まちの飛躍をリードする」のまちを「中 小企業」に変えるとの説明があったが、まちの中に中小企業 も入るので、「まち」はそのままでも良いのではないか。	～共創し、未来へ挑戦し続ける射水の中小企業～ 射水イズムで、まちの飛躍をリードする
4	田仲委員	重点取組、施策・具体的な取組に関して ・創業支援の充実とともに、創業した後の伴走支援が重要であ ると考える。創業後10年継続できる企業はわずか6%と言 われている。ここを人材育成によって伸ばしていかなければ ならない。 ・わかりやすい情報提供が課題となっていた。今若者が使う	【該当箇所によりご意見内容を読み込み】 ・P28（3）重点取組、重点施策1の「今後必要な事業・拡充 すべき事業・検討する取組」の中で「○若手・学生起業家の 創出及び創業後支援」が記されており、この中で創業後支 援を読み込むものとします。また、伴走支援については「○ 専任スタッフによるビジネスサポートセンターの設置」がビ

NO.	発言者	意見	対応案
		<p>SNS はInstagramがほとんどである。より多くの人に情報を届けるためには若者を活用していくことが重要である。</p>	<p>ズ方式による相談支援と同様の取組と考えられるため、こちらで読み込むものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P31 「(3) 支援の活用促進および情報提供」について、情報発信の若者活用については、事業実施段階で若者の活用策を検討するものとし、本素案の内容は変更しないものとします。
5	小杉委員	<p>重点取組、施策・具体的な取組に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な施策や事業の中で、「女性活躍」や「女性人材」などと頭に“女性”が付けられていることに違和感を覚える。特別扱いをせずとも平等の環境になることを評価することが大事ではないか。例えば男性の育休取得率の向上を目指すというよりは、男女とも「希望通りの育休が取得できたか」を評価していくべきではないか。 	<p>【修正反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P28 (3) 重点取組 重点施策2の1行目「<u>女性を含め、</u>あらゆる人が…」の「女性を含め、」を削除します。 ・ P28 (3) 重点取組 重点施策2の今後必要な事業・拡充すべき事業・検討する取組の枠内「○男性の育児休暇取得率向上」は当初予算要求で取得率向上事業を要求中のため変更はしないものとします。ご意見にあった「希望通りの育休が取得できたか」は次回(R6年)の「企業状況調査」において、「従業員の希望どおりの期間、育児休業を取得させた企業数」を調査項目に追加し成果指標に追加します。 ・ P28 (3) 重点取組 重点施策2の今後必要な事業・拡充すべき事業・検討する取組の枠内「○<u>女性が</u>働きやすい職場環境づくり」を「○<u>誰もが</u>働きやすい職場環境づくり」に修正。 ・ P29 (3) 重点取組 重点施策4の今後必要な事業・拡充すべき事業・検討する取組の枠内「○<u>女性</u>デジタル人材育成事業」の「女性」を削除します。 ・ P35 基本方針3 今後取り組むべき事項(1)市内企業のDX・GX化の推進の具体的な取組(案)「⑤(仮) <u>女性</u>デジタ

NO.	発言者	意見	対応案
			<p>ル人材育成事業」の「女性」を削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P39 基本方針5の今後取り組むべき事項（6）女性活躍の推進の具体的な取組（案）「○男性の育児休暇取得率向上支援」は当初予算要求で取得率向上事業を要求中のため変更はしないものとします。ご意見にあった「希望通りの育休が取得できたか」は次回(R6年)の「企業状況調査」において、「従業員の希望どおりの期間、育児休業を取得させた企業数」を調査項目に追加し成果指標へ追加します。 ・ P39 基本方針5の今後取り組むべき事項（6）女性活躍の推進の具体的な取組（案）「②（仮）女性が働きやすい職場環境づくり」を「②（仮）誰もが働きやすい職場環境づくり」に修正します。 ・ 「女性活躍」の言葉については、国の政策でもあるため現行通りとします。
6	浦嶋委員	<p>重点取組、施策・具体的な取組に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 素案の中では、人材育成がクローズアップされている。国においても令和4年から人材育成が最重要課題となっている。富山県においてもリカレント教育やリスキリングには力を入れている。国の支援情報も十分に活用はされていないという課題があり、連携して取り組んでいければと考える。 	<p>【ご意見を参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見として拝聴し、施策・事業の実施にあたって配慮します。また、富山県立大学の社会人向けリカレント講座プログラムの市内企業への活用促進に向け、周知を含め対策を検討してまいります。
7	宮田委員	<p>P40（1）計画推進の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ⑥に「市民の理解と協力」とあるが、全体としてこの取組が薄いと感じる。まちの中で企業と住民がどのような接点を持つかということが重要である。地域では企業と住民との交 	<p>【ご意見を参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と企業の交流については、教育現場においては、出前授業や職場体験の「14歳の挑戦」を行っていますが、例えば、年に1度「企業開放デー」といったものを単独または近隣の企業

NO.	発言者	意見	対応案
		<p>流機会を設けているところもあり、こうした機会の充実を市から奨励してもらいたい。</p> <p>・(1) 計画推進の役割の1行目、「…各関係団体等の責務や役割は以下のとおりです。」という表現は書きぶりが簡素であり、条例の意図を汲んだ内容に改めてもらいたい。</p>	<p>と協力し設けることで、地域の人を職場見学に招待したり、地域行事への参加を促し機会の充実を図ることが考えられるため、企業の地域貢献活動等の事例を紹介するなど、今後、商工団体と連携しながら、よい方策について検討します。</p> <p>【修正反映】</p> <p>・「本計画の推進にあたっては、「射水市中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、各主体がそれぞれの責務・役割を果たしつつ、市内の中小企業・小規模企業及び経済団体、大企業、教育機関、金融機関、市民その他関係機関と計画が目指す方向性を共有し、連携・協力しながら、効果的に中小企業の振興に取り組んでいきます。」に修正します。</p>
8	巨委員	<p>指標について</p> <p>・素案では総合計画との整合性に配慮した内容が多く見られる。総合計画では、人口目標が設定されているが、本計画においても例えば生産年齢人口や従業者数の目標を設定しても良いのではないかな。</p>	<p>【修正反映】</p> <p>・目標設定を「経済構造実態調査」及び「経済センサス-活動調査」データを参考に、「製造業の従業者数」「卸売業・小売業の従業者数」の目標値を掲載します。</p>
9	加藤委員	<p>P35 今後取り組むべき事項について</p> <p>・市内企業のDX化の推進が述べられているが、県立大学としても是非連携して取り組んでいきたい。DX教育研究センターをどのように活用して頂くか、DXの理解や周知を図りながら取り組んでいければと考えている。大学ではアソシエイト会員登録制度もあるので、活用して頂ければと思う。</p> <p>・DX・GX化の推進施策に対して、市内商工団体の会員に対し、DX教育研究センターの見学会を実施してはどうか。併せて、教員とディスカッションする場を設けてはどうか。</p>	<p>【ご意見を参考】</p> <p>・ご意見として拝聴し、施策・事業の実施にあたって配慮します。また、今後とも本市事業に対し、ご協力の程よろしくお願いいたします。</p>

NO.	発言者	意見	対応案
10	八嶋副委員長	<p>計画の実効性に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画では、継続・新規を含めて非常に多くの施策・事業が掲げられている。これを行政単独で全て実行していくことは難しいと考える。それぞれが重要な取組であるため、実施にあたっては、商工会・商工会議所、青年会議所等を含め、事業を移管していくという考え方を持つことも大事である。 <p>P25 将来像について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述内容に硬さを感じる。希望をもって明るい未来を示す箇所であるから、ワクワク感など、柔らかく楽しみを感じさせるフレーズを、差し込むとよいのではないか。 	<p>【ご意見を参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として拝聴し、施策・事業の実施にあたって配慮します。また、今後、第3次振興計画の策定業務と並行し、新規事業の取組を検討しているため、商工団体及び各団体におかれては、事業実施にあたり、ご協力の程よろしく願いいたします。 <p>【修正反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容に、「ワクワク心躍り」を追加します。
11	加藤委員	<p>相談支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業支援センターとしても様々な専門家とともに中小企業支援施策を検討しているところである。県には「よろず支援拠点」があり、氷見市の氷見ビズとも連携しているところである。今後射水市の取組とも連携していければと思う。事業承継支援センターの取組も国からの評価が高い。うまく連携しながら取り組んでいければと思う。 	<p>【ご意見を参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として拝聴し、施策・事業の実施にあたって配慮します。また、本市といたしましても、事業承継に関する新たな取組等を検討しているため、実施に際し、ご協力の程よろしく願いいたします。

2 事務局修正点

No.	項目	内容
1	将来像について	<p>【文言修正】</p> <p>P25 将来像「コロナや社会情勢の影響がある中で」を「様々な社会情勢の影響がある中で」に修正しました。</p>
2	災害への対策	<p>【項目追加】</p> <p>P27 「1 中小企業が元気なまち」に中小企業の防災・減災対策に関する項目を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P27 施策体系に「(5) 災害時の事業継続力強化」を追加 ・ P30 現状や課題、文言追加、関連グラフなど追加 ・ P31 今後の方向性への文言追加 <p>今後取り組むべき事項に「(5) 災害時の事業継続支援」及びそれに対する内容、補足の追加</p>
3	食文化の発信	<p>【内容修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P33 本市は海産物が有名であり、県「寿司と言えば、富山」プロジェクトと連携し、ブランディングの推進はもちろんであるが、その他食材や食文化についても、発掘しブラッシュアップの必要性があるため、項目を「寿司等、射水市に根付いている食文化の発信」に改めました。

◆その他、事務局確認やチェックで修正した箇所

「てにをは」の確認・修正、全角・半角の調整及び内容は変更せず表記の修正いたしました。

以上